



先進国の消費主義的なライフスタイルが、人々の身心の健康における様々な歪みを生み出しました。

過去半世紀にわたり、工業的発想によって、作る人たちの都合で過剰な食が生み出され、廃棄され続けてきた結果、私たち人間は、自らが依存する大切な自然環境を破壊し、更には自らの存在をも危機に追い込んでしまったのです。

高血圧、糖尿、アレルギー、うつ、摂食障害、味覚障害など...非常に多くの人々が、健康上の悩みを抱え、楽しく生きがいとなるべき食事の自由を奪われている為、特に高齢化が進んだ現代日本では、高齢者や障害者をはじめ多くの人々が健康不安と医療費負担増による将来の生活不安に悩まされています。また、自然環境への配慮を欠いた農業手法により、農作物が本来持っている「生」のエネルギーを破壊してしまい、我々、特に子どもたちは本当の美味しさや季節感がすっかり分からなくなっていました。

我々はこれらの深刻な状況に直面し「自然とは、生命とは、人の幸せとは、あるべき食とは」を深く考慮した上で【ドクターズベーカーリー】というプロジェクトを立ち上げました。

本プロジェクトは一企業のみならず、自然環境との調和を第一に考える多数の生産者達との共生で成り立っています。

本来生命は機械のように大量生産できるものではなく、農作物も、鳥も豚も牛も、それぞれが私たちと同じく一個の生命体です。個々の生命体が共存する地球の一員として、当然の自然摂理を守らない限り、私たちは自ら産んだ機械のような食べものに復讐され、これからも身心の健康を損ない苦しみ続けることになるでしょう。

本プロジェクトでは、社会的弱者とされる高齢者や障害者とも等しく共生を行ないます。

働くことはあらゆる人間にとって最も基本的な営みであり、権利であるという考え方を基本に、志ある多くのあらゆる人々が、食に関する仕事を通して医療費削減や次世代の教育、文化伝承などの社会貢献を推進し、ひいては自らの生きがいを創出できることを目指します。

また、本プロジェクトは、過去半世紀にわたり食べものを工業的発想で作り続けてきた我々食品メーカーの使命であるとも考えます。我々は、人々が身心の健康における様々な悩みに囚われず、安心して食を楽しめる食べものの提供を通じて、自然環境保全、医療費削減、文化伝承や次世代教育等の社会貢献を行うことで、心身ともに健全な生命が宿る国、健康長寿国日本を再建することをここに宣言します。

大橋雄二